



週間情報



No.0119

発行日 令和元年5月21日
発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会
担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第101回全国消防長会財政委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和元年5月14日（火）、鹿児島県奄美市（奄美観光ホテル）において、第101回全国消防長会財政委員会を開催しました。

会議における報告事項、議案審議等については、次のとおりです。

【報告事項】

第100回財政委員会以後の経過報告

【議案審議】

- 1 緊急消防援助隊の体制を維持するための財政措置等について
- 2 消防水利の整備に係る財政措置について
- 3 措置期限を迎える緊急防災・減災事業債の対応について
- 4 地方交付税の所要額の確保について
- 5 国家的な大規模行事等の開催に伴う対応について
- 6 令和2年度国の予算概算要求に関する要望書（案）について

【情報提供】

- 1 消防防災ヘリコプターの安全対策について
- 2 次期開催地について



【財政委員会の様子】

◆ 第76回全国消防長会救急委員会を開催

全国消防長会救急委員会

令和元年5月14日（火）、愛媛県今治市（今治国際ホテル）において、第76回全国消防長会救急委員会を開催しました。

会議における報告事項、議案審議等については、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 第75回全国消防長会救急委員会以降の委員の異動及び常任委員・副委員長の選出について
- 2 令和元年度救急車適正利用PRポスターの審査結果について

【議案審議】

第77回全国消防長会救急委員会の開催地について

【情報交換】

- 1 転院搬送における救急車の適正利用の推進について
- 2 外国人傷病者への対応について
- 3 救急隊の感染防止対策について

【情報提供】

- 1 ICTを活用した救急現場滞在時間短縮の取り組みについて
- 2 日勤機動救急隊の試行運用について
- 3 第28回全国救急隊員シンポジウムの開催について
- 4 救急振興財団の事業等について



【救急委員会の様子】

◆ 第97回全国消防長会技術委員会を開催

全国消防長会技術委員会

令和元年5月16日（木）、愛知県豊田市（ホテルトヨタキャッスル）において、第97回全国消防長会技術委員会を開催しました。

会議における報告事項、議案審議等については、次のとおりです。

【報告事項】

平成30年度全国消防長会技術委員会事業結果報告について

【議案審議】

- 1 消防専用シャシのPTO及び駆動伝達装置の脆弱性について
- 2 ISO/TC94/SC14（消防隊員用個人防護装備）国際会議への職員の派遣について
- 3 第98回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 4 第99回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

- 1 無人航空機の機体性能について
- 2 Apple Watch転倒検出機能による緊急通報について
- 3 Net119の導入について
- 4 消防車両の錆・腐食状況と対策について

【情報提供】

- 1 救急車のエンジン載せ替え修理について
- 2 消防庁の取り組みについて
- 3 令和元年度の消防研究センターの事業について
- 4 消防用シャシ及び消防用吸管の情報提供について
- 5 消防防災通信施設等設計業務の受託状況について
- 6 消防用車両関係トピックスについて



【技術委員会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 上手に描けたよ！大人気の写生会を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、平成31年4月16日（火）から5月10日（金）、玉川消防署管内にある15カ所の小学校において「はたらく消防の写生会」を実施しました。

消防車両を前に、児童たちは目をキラキラさせながら一生懸命描いていました。消防隊員や消防団員へのたくさんの質問や、「こっち向いてください」という声があちこちで飛び交い、校庭全体が終始賑やかな雰囲気に包まれました。帰り際には「ありがとうございました」と大きく手を振り見送る児童たちの姿が印象的でした。



【写生会の様子】

◆ 港湾消防力を強化する新たな部隊「水上消防救助部隊」が発隊

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和元年5月13日（月）、新たな部隊の誕生を市民の皆様に知って頂くため、鶴見消防署にて「発隊式」を挙行しました。

横浜港の継続的な国際競争力向上を消防面からサポートするため、既存の水上消防隊3隊と水難救助隊1隊を統合、鶴見水上消防出張所に再配置し、平成31年4月1日（月）、新たな中隊規模の部隊「水上消防救助部隊」を発隊させました。

水難救助隊（16名）と消防舟艇隊（28名）が一体で災害対応を行うことで、横浜港湾地域等における災害発生時の即時対応能力及び安全管理体制が強化されました。

御来賓としてお迎えした鶴見区長、鶴見消防団長、横浜海上保安部長、鶴見警察署長、東京消防庁臨港消防署長、川崎市消防局臨港消防署長等が見守る中、高坂消防局長から新部隊のワッペンが部隊員に授与され、水難救助隊長による宣誓、訓練展示等、令和の時代の幕開けと、横浜開港160周年に相応しい、勇壮な発隊式となりました。



【発隊式の様子】



【水難救助隊長による宣誓の様子】

◆ 2019炎の1dayインターンシップを開催

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和元年5月11日（土）、北消防署において、「2019炎の1dayインターンシップ」を開催しました。

このインターンシップでは、学生、社会人を対象とし、実際に消防がどのような仕事をしているのか知ってもらい、消防士を目指してもらうことを目的として行われました。

当日は多数の方が来場され、救助隊による災害現場を想定した展示訓練の見学や、5つのブースに分かれて、様々な訓練体験を行うなどし、消防の仕事をより身近に感じてもらうことができました。



【展示訓練見学の様子】



【車両見学の様子】

その他の

◆ 堺に泊まれば安全安心！～訪日外国人旅行者向け安全リーフレットを作成～

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、堺ホテル協会と連携し、市内に宿泊する訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう観光先にも携帯できるリーフレットを作成しました。



【外国人旅行者向け安全リーフレット】

本リーフレットは、消防局が監修、堺ホテル協会が発行し、地震発生時の滞在場所ごとの避難行動や、外国语対応している災害情報の入手方法の他、旅行中に火災を発見した時の対応や119番通報の方法をイラスト入りで分かりやすく掲載しており、日本語、英語、中国語（繁体字／簡体字）、韓国語の5言語に対応しています。

平成31年4月26日（金）から、堺ホテル協会加盟の18ホテルのフロントで配架・配布しています。

◆ 通信指令業務意見交換会を実施

十日町地域消防本部（新潟）

新潟県の魚沼地域を管轄とする三消防本部（十日町地域消防本部、魚沼市消防本部、南魚沼市消防本部）では、令和元年5月9日（木）、十日町地域消防本部において通信指令業務に関する意見交換会を実施しました。



【意見交換会の様子】

この会では、各消防本部が使用している119番通報時の聴取票や、死戦期呼吸を見逃さないための取組み、通信指令業務に関する課題等について情報交換がされました。

この意見交換会は、連携・協力体制を強化し、指令業務の質の向上を目的として、今後も継続して開催していくこととし、また口頭指導記録票や、大規模災害時の119番対応コールトリアージ等について、統一した取組みが可能か等の検討も行っていくこととしました。

◆ 人命救助活動協力者に感謝状を贈呈

大牟田市消防本部（福岡）

大牟田市消防本部では、令和元年5月15日（水）、人命救助活動協力者に対し、消防長から感

謝状を贈呈しました。

当事案は、平成31年4月7日（日）17時30分頃、大牟田市唐船付近の水路に軽車両が誤つて転落し、車内に運転手1名が取り残されたものです。

事故現場近くの畑で農作業を行っていた被表彰者ら3名は、高さ約4mある水路（水深約1.2m）に飛び込み、事故車両から運転手を引きずり出し、後着した消防隊に引き継ぐ救出活動を実施しました。

その結果、負傷者は病院に搬送されましたが大事には至らず、3名の勇気ある行動により、尊い命を救うことができました。この行動は、人命救助に多大な功績が認められるため、消防長より感謝状を贈呈しました。



【感謝状贈呈の様子】

国等の動き

報道発表

◆ 「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」の開催

（令和元年5月17日、消防庁）

エネルギー基本計画（平成30年7月閣議決定）等を踏まえ、「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」を開催することとしましたので、お知らせします。

1 背景・目的

過疎化や、それに伴う人手不足等により、ガソリンスタンドの数が減少し、自家用車や農業機械への給油、移動手段を持たない高齢者への灯油配送などに支障を来すようになることが全国的な課題となっています。このため、エネルギー基本計画等において、地域の実情に応じた石油製品流通網の維持や、AI・IoT等の新たな技術を活用し、人手不足の克服、安全かつ効率的な事業運営や事業の多角化等を可能とするため、安全確保を前提としつつ、ガソリンスタンドの安全対策のあり方について検討することが求められています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190517_kiho01.pdf) に掲載されています。

<問い合わせ先>

消防庁危険物保安室 竹本、羽田野、河野
TEL : 03-5253-7524 (直通) /FAX : 03-5253-7534

◆ 第32回危険業務従事者叙勲（消防関係）

（令和元年5月18日、消防庁）

第32回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、625名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章 330名
瑞宝单光章 295名
計 625名

(受章者名等は、別添〈省略〉の受章者名簿に記載されています。)

発令年月日 令和元年5月21日(火)

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

○ 伝達式日程

1日 時 1回目 5月29日(水) 10時40分～11時05分
2回目 5月31日(金) 10時40分～11時05分

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190518soumu_01.pdf) に掲載されています。

連絡先
消防庁総務課
原田係長・樋口事務官
Tel 03(5253)7521 内線42171、42173
Fax 03(5253)7531

◆ 令和元年春の褒章（消防関係）

(令和元年5月20日、消防庁)

令和元年春の褒章（消防関係）受章者は99名で、褒章別内訳は次のとおりです。

黄綬褒章	7名
藍綬褒章	92名
計	99名

(受章者名等は、別添〈省略〉の受章者名簿に記載されています。)

発令年月日 令和元年5月21日(火)

受章者のうち、

- ① 黄綬褒章は、永年にわたり消防機器の研究開発及び製造販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した者
- ② 藍綬褒章は、消防団員や女性（婦人）防火クラブ員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した者を対象としています。

○ 伝達式日程

1日 時 5月30日(木) 11時15分～11時45分

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/R1haruhoushou.pdf>) に掲載されています。

連絡先
消防庁総務課
原田係長・樋口事務官
Tel 03(5253)7521 内線42171、42173
Fax 03(5253)7531

情報提供



2019 (第 23 回) JFFW 交流会

女性消防吏員誕生 50 周年記念交流会

“JFFW”は、Japan Fire Fighting Women's Clubの略で、女性消防吏員が中心となり研修会等を実施しています。毎年実施される交流会では、全国から消防職員が自主的に集まり勉強会や情報交換を行い、消防本部の枠を越え消防職員相互の親睦を深めるとともに自己研鑽を図っています。

今年のJFFW交流会は、女性消防吏員誕生の地である神奈川県で女性消防吏員 50 年の歴史を振り返り、さらには(株)Radience 柴山健太郎氏をお迎えして、大谷翔平選手が夢を叶えた「オープンウインドウ 64」の作り方と使い方を学びます。夢の実現に向けて自分自身の可能性を見つめてみませんか。

- 1 日 時 令和元年 7 月 6 日（土）10 時 00 分から 17 時 00 分
- 2 会 場 神奈川県横浜市中区本町 1-6 横浜市開港記念会館
- 3 参加者 全国消防吏員及び OB 等支援者で参加を希望する方
参加申し込み定員 200 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 4 申込み ホームページから申し込みができます。 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~club-jffw/>



交流会 10:00~17:00 参加費 5,000 円（昼食代を含む）

* 受付 (10:00~) 【エントランス】受付後は講堂にて名刺交換、交流タイム

- 1 開会 (10:50~) 【講堂】
- 2 女性消防吏員誕生 50 周年記念講演 (11:00~11:40) 【講堂】
元横浜市消防局 秦 好子 氏
- 3 ランチタイム交流(11:50~12:30) 【各会議室】
- 4 講演会(12:40~14:00) 【講堂】
『なりたい自分になるために・・・セルフマネジメントを学ぶ』
(株)Radience 柴山健太郎氏
- 5 分科会 (14:10~15:40) 【各会議室】
分科会では年代別に講演会で学んだセルフマネジメントやオープンウインドウ 64 を基に意見交換を行います。
- 6 女性消防吏員誕生 50 周年記念式典 (16:00~16:25) 【講堂】
- 7 閉会 (16:25~16:30) 【講堂】
- 8 写真撮影 (16:45~17:00) 【講堂】



懇親会 18:00~20:00 (受付 17:30~)

会場：中華街 金香楼（横浜市中区山下町 200-9）045-680-5568

会費：4,000 円（定員先着 150 名）

問い合わせ先 JFFW 交流会事務局

川崎市消防局 中原消防署 熊谷/044-411-0119

相模原市消防局 指令課 野口/042-751-9111

◆ ミサワホーム キャンペーンのご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録業者であるミサワホーム株式会社より、展示場・見学会・イベントに来場するだけでもれなくミッフィージャンボバスタオルが、さらに成約すると豪華景品がもらえる新たなキャンペーンのご案内がありました。

本協会としましては、指定店制度をさらに多くの会員（消防職員）の皆様にご活用いただくために、キャンペーン情報を令和元年5月22日（水）に、各本部宛にメールで送付することとしました。つきましては、皆様に一層のご周知をよろしくお願い申し上げます。



【問い合わせ先】

業務課

担当：河野、^{かわの}石井健一

電話：03-3234-1321

* 次回の週間情報配信は、令和元年6月4日（火）となります。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4／25発刊）参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、kikachosei@fcaj.gr.jpに送信願います。

③ 消防ワイド

※150文字程度（160文字以内）の原稿Wordデータ及び画像データはWord等に貼り付けずに、JPEGデータのまま送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、joho-sys@fcaj.gr.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。

・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）

・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 清田

